

京都市生涯学習市民フォーラム通信

令和7年度総会を開催

令和7年11月19日（水）、251の生涯学習関係団体からなるネットワーク組織「京都市生涯学習市民フォーラム」の総会を、キャンパスプラザ京都2階ホールで開催しました。

今年度は、生涯学習推進者表彰式、加盟団体による活動発表（新規加盟の4団体を含む計6団体）を実施しました。

他の団体の活動内容を知る機会はあまりないため、他の団体の取組を知ることで加盟団体同士の交流を促進する機会となりました。

総会の冒頭では、本フォーラムの松本 紘 会長のご逝去に伴い、次期会長が決定するまでの間の会長職務については、本郷 真紹 副会長に代理していただくことが報告されました。



京まなびネットでも
紹介しています。



(<https://miyakomanabi.jp/>)

生涯学習市民フォーラム副会長挨拶、市長メッセージ

本郷 真紹 副会長の開会挨拶では、加盟団体の事業企画運営やボランティア活動に永年尽力され、生涯学習推進者表彰を受けられる皆様の御功績を称えられた後、10月に閉幕した大阪・関西万博開催に触れ、「インターネットやSNS等で様々な情報が簡単に手に入る現代において、様々な国や地域の文化・芸術等に直接触れ、知的好奇心を掻き立てられる経験・体験の場が提供されたということが、万博の人気に繋がったのではないか」と述べられました。また、「本フォーラムの加盟団体が行っている様々な体験の場の提供や取組の継続が、文化都市・京都における文化を軸にしたまちづくりの機運を高めるだけでなく、本総会のような場を通じて加盟団体同士が交じり合うことで、新たな文化を創り出していくことに繋がる」と述べられました。

松井 孝治 京都市長からは、学術と文化や芸術の双方で世界から敬愛される「学藝の府」である京都において、本フォーラムの加盟団体が「学藝」と市民をつなぐ役割を担っていること、本フォーラムが様々な分野の生涯学習関係団体がつながる「結節点」としての役割を担っていることの大切さと、学びが交じり合うことが新たな発想やまちづくりの実践の深化につながるものであるとのメッセージをいただきました。

生涯学習推進者表彰

加盟団体において学びの機会を提供する事業の企画・運営等、市民の生涯学習の推進に大きく寄与された方を対象に、生涯学習推進者表彰を実施しています。

今回、生涯学習推進者表彰を受賞された62名の方に、表彰状をお贈りしました。

►本郷 副会長から代表受領者へ表彰状の授与



新規加盟団体紹介（5団体）

- 京都多文化ファミリーKMF 及び京都市育脳＆英語サークルKBE
- 鼓動に触れるプロジェクト実行委員会
- 一般社団法人 千總文化研究所
- 一般社団法人 チームパッション
- つみきのよう

（裏面に続く）

加盟団体の活動発表 —— 発表内容の一部をご紹介します。

● 特定非営利活動法人 アントレプレナーシップ開発センター

- ・社会課題の解決に貢献する事業を創出し、アントレプレナーシップあふれる人材の育成と環境・社会風土の創出をミッションに活動。
- ・子どもたちが1年がかりで製作した「京の不思議地名かるた」の話題に触れ、苦労しながらアイデアを形にしていく子どもたちの活動の様子を説明。
- ・Kyoto アントレプレナーチャレンジ、ジュニアリーダーズクラブ等、今後も様々な実践の場を提供していきたい。



コーディネーター
桝木 良子 副会長



● 京都多文化ファミリーKMF 及び京都市育脳&英語サークルKBE [新規]

- ・外国にルーツを持つ方のいるご家庭の子育ての困りごとを解消し、日本でより良く生活できるよう、翻訳やメンバーの有志で支援に向けた勉強会や交流会を実施するほか、海外絵本の読み聞かせ等の活動を行う。
- ・アウトドアでの体験活動や収穫体験の企画のほか、「草の根乳幼児エンリッチメント活動」では、多様な文化体験や言語体験、子育て講演会での保護者への啓発活動も行っている。



● 京遊學舎

- ・服飾評論家、世界の少数民族の衣服の収集家としても知られた市田 ひろみ 氏が創設した、和の文化発展を目的とした学び舎。
- ・着付け教室やいけばな、舞踊、謡曲、和裁、刺繡、和のパッチワーク、人形教室、ヨガ等、様々な教室を風情のある京町家で開催している様子を動画で紹介。



● 鼓動に触れるプロジェクト実行委員会 [新規]

- ・聴導犬の啓発事業で小学校を訪れた際、聴覚障害のある方が鼓動を体験できないことに直面したことを機に、鼓動に触れることが心を寄せた有志が立ち上げる。
- ・「心臓ボックス」を用いて、鼓動に触れた感覚を記憶に残す独自のワークショップを創出。
- ・孤立や希薄化する人の繋がりを解消し、思いやりや気遣いを忘れない温かみのある交友関係の構築を目指し、今後も活動を続けていく。



● 一般社団法人 チームパッショն [新規]

- ・孤独・孤立の解消と地域コミュニティの活性化を目的に、精神的な孤立状態にある人々を対象に居場所の提供や自己実現の支援活動等を行っている。
- ・当事者であった1人の高校生が、活動を通じて支援者として自己実現を図っている事例を交え、自然や地域資源を活用した活動やAIエージェントを開発して個別最適な支援の仕組みづくりを目指したい等、今後の展望も紹介。



● つみきのよう [新規]

- ・子どもたちが世間や思考に捉われすぎることなく、あるがままの心・感覚を大事にできる場づくりを実践し、自然とともに活動を行う。
- ・主な活動である「野遊びサッカー」と「ピアノを弾かないピアノ教室」を中心に、団体の活動内容を説明し、代表と子どもたちが「野遊びサッカー」の実演を行い、会場全体が温かい空気に包まれた。



○ 稲田 新吾 京都市教育長 講評

世代を超えて学びを実践することの大切さを改めて感じた。発表を観ながら、昼間部と夜間部の良さを生かし、世代や国籍を超えてふれあい学びあう学校をコンセプトに様々な取組を行っている洛友中学校と重なった。

(洛友中学校の様々な実践事例も紹介されました。)

引き続き様々な活動の実践に取り組んでいただきながら、学びを深めあっていただきたい。



○ 本郷 真紹 副会長 講評

加盟団体の活動について紹介・発表いただくことで、どのような活動をされているのがよく分かり、非常に貴重な機会になった。大学でも、社会人で入学された方の学びへの真摯な姿勢に、若い学生たちが良い影響を受けることがある。この機会に団体同士がつながり、世代を超えて交流し、新たな取組に繋げていくことが、地域をはじめとする様々なコミュニティの活性化につながると思う。

少子高齢化等の課題も多いが、今後も各団体で様々な取組を続けていっていただきたい。